

2020年12月7日（月）「九州の食輸出協議会 第2回定例会」及び「中国山東省・日本九州食品農水産物オンライン商談会」の開催報告

1. 九州の食輸出協議会 第2回定例会

（日時：2020年12月7日（月）12:30～14:00 場所：福岡県 Ruby・コンテンツ産業振興センター）

・2020年12月7日（月）に、九州の食輸出協議会（以下協議会）の2020年度第2回定例会を行った。会長である弓場貿易(株)の弓場社長はオンラインでの参加となったが、その他の会員4社は来場にて参加した。定例会では、協議会及び会員商社の現況報告、会員拡大活動状況報告、イオン海外店舗との商談会の方針協議、今後の計画についての説明等を行った。

・イオン海外店舗との商談会については、マレーシアとカンボジアの店舗とフェア開催、あるいは個別商品の商談を行う方針で今後イオン本社と調整していく。



2. 中国山東省・日本九州食品農水産物オンライン商談会

（日時：2020年12月7日（月）15:00～18:00 場所：福岡県 Ruby・コンテンツ産業振興センター）

■概要

・同日定例会開催後に、中国・山東省との2018年6月のMOU締結に基づき計画された、「中国山東省・日本九州食品農水産物オンライン商談会」を開催した。協議会の会員商社5社と、山東省のバイヤー29社がオンラインにて商談を行った（1コマ20分を各商社7コマの計35コマで実施）。

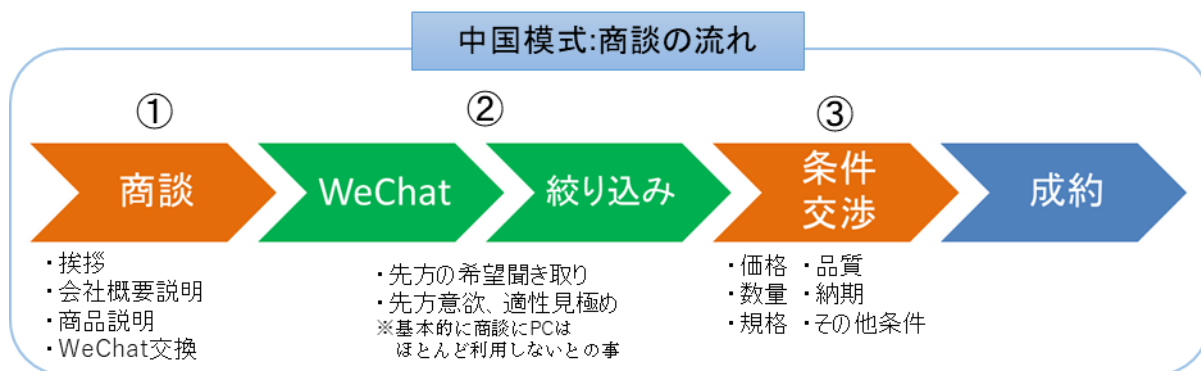
・山東省側からは食品卸業者、スーパー等の食品小売業者、レストラン等の飲食店運営業者、ECサイトの運営業者等、様々な業種のバイヤーが参加した。日本産の食品に対する関心は高く、中でもラーメン・日本酒・水産加工物等に注目が集まった。



■商談について

・中国語対応可能な社員がいる企業については当該社員が、いない企業については通訳を介し山東省側と商談。時間も短かったため、当日は挨拶と企業概要、全体的な取扱商品の紹介等に留め、具体的な商品についての言及は後日メール等で行う、といった方針が取られていた。

・今回は日本側商社5社の内3社で中国系社員が商談を担当しており、今後の流れもSNSを中心とした中国式で進むものと予想される。(下図①～③の3段階を経て成約)



■オープニングセレモニーについて

・また、同時間に並行して、各団体の代表者である九州経済連合会麻生会長・山東省商務庁呂副庁長・駐福岡中国総領事館律総領事がそれぞれ挨拶を行うオープニングセレモニーがオンラインにて行われた。

・山東省商務庁の呂副庁長からは、越境ECを活用した貿易拡大や、産業チェーン・サプライチェーンのマッチング強化の意向と共に、九州企業に山東省輸入博覧会(2021年予定)に参加してほしい、といった要望があった。



■今後の展開

・本商談会は山東省との取引拡大におけるキックオフイベント的な位置で付けであり、今後も山東省との関係強化し、中国市場への九州食品農水産物輸出取組みを継続し、九州の生産者や食品産業を支援していく。また、今回の商談会の商談結果については、九州側5社の継続状況をフォローしていきたい。

以上